

看護学雑誌 第41巻 総目次

1977年1 - 12月

(表示は、題名：筆者名、号数、ページ数)

マイ・オピニオン

- ‘看護とは’と問われるなかで思うこと：西山和子，1，13.
患者さんと一緒に呼吸をしてみませんか：谷美津子，2，121.
院内教育を模索するなかで：高橋令子，3，229.
新しい医療のなかの看護：錦野美江，4，337.
リハビリテーション看護に思う：丸山福治，5，445.
看護管理者になって思うこと：今成邦子，6，553.
リハビリテーション・スタッフとして：江元セツ，7，661.
卒後教育・継続教育を考える：飯田澄美子，8，773.
看護の短大教育について思うこと：金川克子，9，881.
生活における看護の役割：今村節子，10，989.
教室と臨床実習の指導は同一教員で展開を：阪本恵子，11，1097.
看護婦を見る眼：千島染太郎，12，1205.

特集

管理から看護へ

- 看護婦自身のヒト感覚の回復を：佐藤登美，1，15.
こなす看護者からとまどう看護者へ：山本浩子，1，20.
拒否された善意からの援助：加藤千穂子，1，27.
たとえ要領が悪いと言われても：宮崎幸子，1，33.
患者はなぜおびえるのか——ある長期入院患者の思い出から：伊藤虎丸，1，37.
座談会・だれのための院内規則か：前浜政子・小林喜久子・亀井小寿美・細木武友・坂本純子・横山愛子，1，45.

現代看護への提言

- 座談会・看護は何を目指すべきか——医師からの提言：日野原重明・阿部正和・高階経和，2，123.
問診は看護技術でもある：堀川直義，2，142.
現代看護が解決しなければならない問題：辛島佐代子，

2，147.

援助の成り立ち

座談会・援助の心と形：上村益稔・緒方英子・佐伯幸子，3，231.

援助はいつ、どのようにして成り立つか

レポート1. 相手の心があるがまに感じること：阿部美恵子・植木富子・佐伯幸子・館岡節子・富田美知子・根本秀美・山根和子，3，241.

レポート2. その人の独自性をいかに受けとめるか：坂梨秀子，3，248.

レポート3. 共感し、受容する心：坂ノ上淳子・村岡侑子・吉浦総子・吉川千恵子，3，253.

レポート4. きく・わかる・伝えることの訓練を：緒方英子・三岳弥栄・工藤正子・小原セツ子，3，259.

援助の成り立ち・2

‘狐’から感応への揺れ——援助と呼応の深層構造を探る：近森美美子，4，339.

援助のなかのズレちがい——援助する・される関係について：上野轟，4，347.

精神的苦痛を持つ患者に対する看護のあり方を考える——重症筋無力症患者のクリーゼをおこす原因を探る：塩見静江，4，353.

この人から学んだ看護：工藤正子・伊藤公子，4，359.

体験としての看護——語り合うなかでの確かめ

体験としての看護——‘看護’を語り合うことの意味を求めて：外口玉子，5，447.

体験を語り合うなかから その1：宮本永子・外口玉子，5，453.

語り合いを終えて：宮本永子，5，473.

体験を語り合うなかから その2：梅田八重子・外口玉子，5，475.

語り合いを終えて：梅田八重子，5，488.

なぜ看護者に個人の机はないのか

空間への自由の尊重として：岡本富郎，6，555.
生きられる空間を与えてくれる：矢野真二，6，560.
なかった‘机’の意味から——原初的な看護行動への回帰：佐藤登美，6，565.
孤独な世界をつくれる場がほしい：鈴木久子，6，571.
看護労働の特徴と日本におけるその発展過程について——看護婦が‘机’を持つことの意味を問う：野口美和子，6，574.

病人の心への接近

対談・病気をどう生きるか：望月衛・都留春夫，7，663.
病人の心理——不安の問題を中心に：池田数好，7，674.
臨床看護における心理的接近の技術：深津要，7，681.
肺癌を宣告された患者の心理状態を探る：池田久美子・山崎直江・池田イツ子，7，688.
精神分裂病者の個別的受容について——粗暴行為を繰り返す一分裂病少女への接近を通して：酒井千知・伊藤シズ子・青木萩子，7，696.

‘気づき’のプロセスを探る

気づけなかったことが気づけるようになるプロセスを探ってみると：見藤隆子，8，775.
‘私’のなかでの気づき：杉戸恵理子，8，779.
‘気づき’のプロセス——看護プロセスにそった意味づけ：島内節，8，788.

人工臓器によって生きる

人工臓器を使ってまでなぜ生きるのか：新藤泰男，9，883.
生き永らえるだけでも意味がある：樋口恵子，9，889.
死に直面して生を意識する——私の透析体験から：椿一郎，9，893.
負い目をもって生きる長期透析患者への援助：吉岡典，9，900.
講座‘生命と人工臓器’の学びから：溝口満子・遠藤セツ，9，909.
ハンディをもつ透析患者から学ぶ：伊野恵子，9，915.
人工臓器の限界をどこに求めるか：酒井紉，9，920.

老人の問題行動

対談・老人——その心の動き：阿部初枝・田中多聞，10，991.
老人の問題行動と心理的背景：長谷川和夫，10，1001.
問題行動のある在宅老人と家族への訪問看護：島田妙子，10，1018.

問題行動のある老人へのケア：中津川和子，10，1024.
入浴を嫌う老人へのケア：大工原秀子，10，1029.
性格的に問題のある老人へのケア：山田瑞子ほか，10，1035.

体験を整理する試みのなかで

2度目の患者との出会い——精神科看護から一般科看護の再検討の試み：里中ヨオ子・野田正彰，11，1099.
臨床3年目——体験をふりかえって：松原照美・野島良子，11，1118.

看護の場は個を生かしうるか

出口なき看護婦集団：久米和興，12，1207.
隙間をつくる余裕を：中山洋子，12，1211.
新人看護婦の病人への感情を表出させよ——新人看護婦Tさんへの返書：富田幾枝，12，1216.
看護の重さにつぶされてしまう看護婦たち：平井純子，12，1222.
自分の思っていることが行動となる看護を：柏倉栄子，12，1228.
看護の場でお互いに個を生かし合うには——私の臨床体験より：佐鹿孝子，12，1233.

ベッドサイドの看護

成人・一般

病名を知らされない外陰部癌患者の看護：酒井春子・野本英子・荒木アイ子・高橋則子，1，53.
早期胃癌に難治性疾患を合併し複雑な経過をたどった患者への看護：中葉恵美子，4，385.
生き生きとした信頼関係を作り上げていく看護——精神分裂病患者の場合：小原裕子，5，491.
独身で知能レベルの低い糖尿病患者の食事指導：高比良朝子・成田祥子・榊原純子・太田美根子・川原寿子・森田芳子，6，581.
気管支喘息発作時の物理的援助を中心にした看護体験：田中潤子・桐生奈理子・土井純子，7，704.
四肢拘縮をきたしたヒステリー患者の歩行への援助：母里定代，8，810.
高度の難聴を伴った筋萎縮性側索硬化症患者の看護：米山妙子，8，815.
化膿性脊椎炎に術後肝炎を併発した患者への援助：深間内恵子，12，1245.
術前に極度の不安症状を呈した患者の看護：青芝映美・田中寿美恵，12，1250.

老人

高齢肺癌患者の一時退院を目指して：安部千鶴，4，380.
低血糖発作に苦しむ高齢患者への援助：青木恭子，12，

1255.

脳卒中後遺症をもって退院した患者への支援：相良フサ子, 12, 1259.

母性・小児

ダウン症候群患児の日常生活動作への援助：田中貞子・野手美代, 1, 62.

透析患児の精神的ストレスに対する援助：高木裕子, 2, 162.

小児気管支喘息患児のキャンプの意義と看護の役割：西本恵子・鳥井ウメヨ, 3, 278.

脳性麻痺児の排泄自立への援助：井上ウメ子, 4, 376.

軟口蓋裂を伴う障害児の哺乳から離乳までの食事援助：中川君枝・大槻信子・前原ますみ・中村美智子・市野千恵子, 6, 587.

重心児における流動食から固形物摂取への援助：佐藤恭子, 6, 592.

7歳まで粉ミルクで育てられた重心児の離乳を試みて：伊藤カズ・古川富子, 6, 595.

重症心身障害児の習慣性便秘に対する援助：西山房代・内山田ヨシカ・鬼塚和代・佐藤美紀代・前田絹子, 8, 820.

Kちゃんが泣いた——頭蓋内出血を伴って生まれた新生児と家族への接近：林奈子・川口スキ, 12, 1240.

研究と報告

脳神経外科病棟における意識レベル表の考案：山県京子, 7, 707.

術後患者の離床援助に関する研究：柿崎陽子・鈴木千賀子・工藤恭子・沢田つや, 9, 924.

手術後患者の胸部理学療法：竹田総合病院術後病棟, 11, 1147.

学生の研究

回復意欲のない老人へのアプローチ：辻村美津江, 2, 167.

高圧浣腸の注入速度と患者の苦痛について：市川由美子・内村一子, 4, 389.

直腸腔瘻患者の排泄の援助——大腿骨骨折で入院した老人患者を通して：山下智子, 6, 599.

死への看護：柏木哲夫

なぜチーム・アプローチが必要か, 1, 65.

真実を告げる必要——ある胃癌患者の例を通して, 2, 172.

患者の必要を満たすためのチームアプローチ——ある卵巣癌患者の例を通して, 3, 282.

よき聞き手の条件——3人の末期患者の例を通して,

4, 393.

配慮的人間関係の大切さ——自殺を企てた胃癌患者を通して, 5, 497.

患者の宗教的必要——信仰により平安を得た胃癌患者を通して, 6, 606.

信仰をもった患者から学ぶ, 7, 712.

家族の役割, 8, 825.

患者の死後の家族の問題, 9, 931.

子供の死と親の反応——奇形の乳児の死を通して, 10, 1040.

成長するチーム, 11, 1153.

家族への援助, 12, 1262.

人間関係：大段智亮

病院のなかの人間関係(3), 1, 71.

病院のなかの人間関係(4), 2, 178.

組織開発の1実例(1), 3, 288.

組織開発の1実例(2), 4, 398.

個人的な工夫, 5, 503.

車椅子訪問記：篠田鶴子

‘お刺身’ルポルタージュ 前奏曲, 5, 532.

‘お刺身’ルポルタージュ 出発前後, 6, 611.

‘お刺身’ルポルタージュ いよいよ施設へ, 7, 718.

‘お刺身’ルポルタージュ 届かぬところ, 8, 832.

‘お刺身’ルポルタージュ 選ばれた人が入るリハ施設, 9, 937.

‘お刺身’ルポルタージュ 最後の施設訪問, 10, 1046.

ユニホーム

十全二ツ橋病院：松本政子, 1, 1.

藤田学園名古屋保健衛生大学病院：板崎久子, 2, 109.

日本赤十字社医療センター：鈴木チズ子, 3, 217.

東京歯科大学市川病院：木村サチ子, 4, 325.

東京歯科大学市川病院：湊久代, 5, 433.

筑波大学付属病院：田代順子, 6, 541.

筑波大学付属病院：田代順子, 7, 649.

筑波大学付属病院：田代順子, 8, 761.

順天堂医院：上田禎子, 9, 869.

駿河台日本大学病院：星澤政枝, 10, 977.

板橋区医師会病院：小谷ハルエ, 11, 1085.

佼成病院：島田利子, 12, 1193.

アイディア

ギブス装着患者のための排泄介助用具の工夫：井本恭仁子・山根玲子, 1, 2.

乳房切断後の補正ブラジャー：高橋和子, 2, 110.

頸部損傷患者の洗髪用具の工夫：渡辺文・畠山セイ, 3, 218.

体位の限定された患者の寝衣の工夫：田中カツ子・石川一恵・佐藤博子・佐藤千鶴子，4，326。
救急用ワゴン車の工夫：鈴木はつ子，5，434。

便こね防止のためのロンパスの改良：金沢シズエ・倉沢タツ，6，542。
重心児のための氷嚢・氷枕カバーの改良：金沢シズエ・倉沢タツ，7，650。
体幹・下肢不安定児のための洋式便器補助具と三輪車：井上ウメ子，8，762。
経皮胆管ドレナージの固定と歩行時の貯留携帯袋：牛尾千歳，9，870。
ウォーターベッドの改良：蔵満フサエ・前村久子，10，978。
股動脈圧固定帯の考案：五十嵐悠美子・石田金・大森綾子・小川礼子・安早苗，11，1086。
低圧持続吸引器の逆流防止：川畑安正，12，1194。

グラフ

‘生活の場’と‘看護の場’をひとつに——動き出した日本初のナースিংホーム，1，6。
新装なった日本赤十字社医療センター，2，114。
禁止条項をとにかく取り除いてみよう——閉鎖病棟のない三枚橋病院，3，222。
健康の自己管理とその教育をめざして——ライフプランニング・センターにみる‘教育医療’の実践，4，330。
心待ちにされるヘルパーの訪問——荒川村ホームヘルパー星さんの1日，5，438。
人工透析で生きる——名古屋クリニックLCUの夜間透析を訪ねて，6，546。
死と向かい合う“いのち”の記録 映画<車椅子の青春>にみる筋ジス患者たちの生きざま，7，654。
カール・ロジャーズのエンカウンターグループの記録 映画“出会いへの道”，7，658。
‘看護は専門職’の声高らかに——‘看護の限りない可能性を求めて’ 第16回ICN東京大会，8，756。
‘看護の限りない可能性を求めて’ 世界の国々からやってきたナースたち——第16回ICN東京大会，9，874。
自閉症児が心を開いた——記録映画‘育つ——ある統合保育の記録’が完成，9，878。
准看護正運動の推進とILO‘看護婦条約’の実現をめざす——創立30年目を迎えた日本看護協会通常総会，10，982。
第23回医学書院看護学セミナー開かる ‘ICUにおける患者ケア’をテーマに，10，985。
動きだした看護研修研究センター，10，986。
徹底した基礎看護が支える命——横浜市立大学医学部付属病院脳神経外科病棟，11，1090。

子供のもっている希望を育てたい——なにげない援助が求められる筋ジス児への看護，12，1198。

プロフィール

人間としてなお生きねばならぬ自身を見すえて——衝撃的作品“神への告発”の著者／籠田鶴子，1，93。
どうしてもこの体験を残しておきたい——従軍看護婦の体験集作りをすすめている日赤看護部長／新井サグ，2，201。

自分は男だなんて意識はしないですね——手術室看護に意欲を燃やすフレッシュ看護師／工藤政巳，3，309。

‘なぜ、その人が病んでいるのでしょうか’——28年間勤務の国立肥前療養所を昨年12月退職／廣瀬喜美子，4，417。

どうしても看護を基礎から学びたかった——50歳の看護学生として今春准看護学院を卒業／前原ヤス子，5，525。

病院の粗末な食事でも大方治ってしまう——青年海外協力隊員として2年間ネパールの病院で勤務／豊島光代，6，633。

子供を背負って講義を受けたこともありましたが——10年計画で大学の通信教育にいどんで9年目の養護教員／戸塚文江，7，741。

基礎を学び広い視野をもつ看護婦に——ナイチンゲール章を受章したスイス看護協会会長／イヴォヌ・ヘンチ，8，853。

一緒に楽しみながら旅行しています——身障者の旅行会‘空とぶ車椅子の会’で活躍／六郷聖子，9，961。

医療を通しての伝道を——キリスト教海外医療協力会員としてネパールで医療奉仕を続ける／俵友恵，10，1069。

ICU看護を一生懸命勉強しました——日本で学ぶインドネシアの看護留学生／イダ・アユ・プルナマニングシ，11，1177。

医療に対する国民性の違いを強く感じました——スイスの病院で勤務のかたわらICU看護婦の免許を取得／加藤栄子，12，1285。

ホームヘルパー跳びある記：星美代子

山ひだにひっそりと息づく老人たち，1，94。
関係プレーの大切さ——ある父子家庭の事例から，2，202。
独居老人とその周辺，3，310。
寝たきり老人とその周辺(1)，4，418。
寝たきり老人とその周辺(2)，5，526。
ある老画家のこと，6，634。
どんなわがままな老人でも，7，742。

Y子とのつきあいをとおして, 8, 858.
山村, その風土に生きる人々, 9, 962.
老いのころ——ある老人の自殺を契機として考える,
10, 1070.
ふさちゃんという老夫人, 11, 1178.
たった1人の職場, その充実と孤独, 12, 1286.

書 評

神経内科看護: 梅津淑子, 1, 98.
研究という名のドラキュラ<植物人間になった妹>: 仙頭育, 1, 99.
人間はわかりあえるか: 西野和子, 2, 206.
臨床検査の知識と介助(第4版): 柴田玲子, 2, 207.
病態生理からみた心臓病患者の看護: 萩屋恵子, 3, 314.
人間看護学序説: 池田真理子, 4, 422.
人間ひとりひとり: 畠中宗一, 5, 530.
老人患者のマネジメント: 辻美奈子, 6, 638.
不整脈のパターンプラクティス: 加藤万利子, 6, 639.
注射の功罪——大腿四頭筋拘縮症をめぐる: 栗田紀代恵, 7, 745.
あるペーチェット病患者の記録——霧のなかの旅立ち: 舟島なをみ, 7, 746.
病める心の臨床——手づくりの医療と看護への接近: 外間邦江, 8, 862.
目で見る患者援助の基本: 黒田みつ, 8, 864.
ナイチンゲール著作集(第3巻): 辻多美代, 9, 965.
問診と面接の技術——医師と看護婦のために: 石原須美, 9, 966.
看護のころ——講義の合い間に: 吉田谷弘, 10, 1074.
医療学入門: 山中恵美子, 10, 1075.
620のプログラム教程——胃腸病へのアプローチ: 小暮久美子, 11, 1181.
続・わたしの助力論——人間関係の条件: 森富士子, 11, 1182.
精神科看護事例集——患者とのこころの対話: 阿井恵, 12, 1290.
母乳哺育: 松村龍雄, 12, 1292.

看護サロン

臨床看護婦と結婚: 石田智恵子, 1, 102.
ある雑誌から気付かされたこと: 山崎智代美, 1, 104.
看護のころを継ぐもの, 1, 105.
あるかかわりのなかでの学び: 渡辺育子, 2, 210.
ある病院での体験: 山谷貞, 2, 212.
第16回ICN東京大会準備進む, 2, 214.
高橋たか子著“誘惑者”と安楽死について: 篠田鶴子, 3, 318.
准看制度廃止を願う: 田中衣子, 3, 320.

人間理解の出発点: 田中正孝, 3, 321.
こえ: 新井伊和夫, 3, 322.
看護される側から: 千島染太郎, 4, 428.
ある現実: 前嶋知恵美, 4, 431.
卒業生を送って: 小枝幸子, 5, 534.
入院を体験して: 横田嶺子, 5, 535.
カルテを見てしまった叔母に会って: 渡辺育子, 5, 536.
看護婦の仕事: 匿名, 5, 538.
技術の看護より心の看護を: 佐藤エミ子, 7, 748.
ある看護婦の応対に思う: 久米蝶子, 7, 753.
長島愛生園の患者さん清志初男氏の作品が光風会展に入選, 7, 753.
老人ホームの看護婦として: 昌子タツヨ, 9, 970.
白井吉見著“事故のてんまつ”について——死の美学的考察: 篠田鶴子, 9, 973.
ヨーロッパ研修旅行で学んだこと: 福田葉子・五十畑孝子, 10, 1078.
私の入院体験から: 宮下ミツエ, 10, 1083.
死にゆく人と残される孤独な老妻とのかかわり合いの中で: 松本こずえ, 11, 1186.
問題行動を起こす老人の心理を探る(1): 中林よしゑほか, 11, 1188.
問題行動を起こす老人の心理を探る(2): 中林よしゑほか, 12, 1294.
再び考える看護の道: 丸岡君子, 12, 1297.
病名を告げるべきか: 小枝幸子, 12, 1298.

特別論稿

‘生’と‘死’の選択——欧米の動き・3——立法化の一方で, 判断基準づくり: 宮野晴雄, 2, 153.
‘生’と‘死’の選択——欧米の動き・4——指導的な2病院のガイドライン: 宮野晴雄, 3, 263.
よりよい看護をするために——看護面接の理解とその実践: 松野かほる, 3, 271.
新しく看護婦になられた皆さんへ
看護に望むもの: 高橋忠雄, 4, 363.
死に臨む友を看取りて: 小島梅子, 4, 371.
特別対談・障害者にとって安楽死とは: 篠田鶴子・清水昭美, 8, 797.

第16回ICN東京大会印象記

改めて思う‘看護は1つ’との確信: 土田和美, 8, 854.
大きな感動と充実感を存分に味わう: 伊藤敦子, 8, 856.
ILO‘看護婦条約’採択の意義と今後の展望: 小島ユキエ, 11, 1132.
資料/看護職員の雇用及び労働・生活条件に関する条約及び勧告(全訳)——1977年第63回国際労働総会の暫定記録より訳出: 日本看護協会, 11, 1135.

看護界ニュース

- 第7回日本看護学会成人看護分科会／第8回中国地区看護研究学会／第9回看護学生看護研究学会／第35回日本公衆衛生学会，1，107.
- 第7回日本看護学会母性看護分科会・小児看護分科会／第12回東海4県看護研究学会／和歌山看護学セミナー第3回看護討論会，2，215.
- 明確な自覚をもった看護教員の養成を目指す——開校3年目を迎える神奈川県立看護教育大学校を訪ねて，3，316.
- 第16回ICN 東京大会準備進む／第13回九州地区看護研究学会／第8回近畿地区看護研究学会，4，426.
- 第16回ICN 東京大会近づく，6，642.
- 厚生省・看護研究研修センターが完成／看護を考える市民と看護婦の集い／第20回国際病院学会／日本精神科看護技術協会記念大会，8，865.
- 東京看護学セミナー第13回公開セミナー／第26回ナイチンゲール記章受章式／シンポ‘新しい地域医療と福祉をめざして’開かる——東筋協巡回検診第50回記念事業，9，968.
- ILOが‘看護婦条約’を採択——労働条件だけでなく教育・業務・政策・国際協力などを包括，10，1077.
- 第3回医療と教育に関する国際セミナー——‘地域医療におけるプライマリーケアの実践’を討議／第8回日本看護学会母性看護分科会／第8回日本看護学会小児看護分科会，11，1184.
- 第4回国際心身医学会議／第9回中国地区看護研究学会／第8回日本看護学会成人看護分科会，12，1293.

内視鏡検査と介助の実際：小黑八七郎

- 内視鏡とパラメディカル，1，77.
- 検査予約とオリエンテーション，2，185.
- 内視鏡室の構成と備品，3，293.
- 内視鏡検査と薬品，4，401.
- 内視鏡器械の正しい取り扱い方，5，509.
- 内視鏡の光源・カメラ・フィルムの知識と資料保存，6，617.
- 胃内視鏡検査の看護と介助の実際，7，725.
- 早期胃癌と胃内視鏡検査，8，837.
- 内視鏡検査とX線，カラーテレビ，映画，9，945.
- 内視鏡検査と伝染病予防対策，10，1053.
- 内視鏡検査の偶発症とその対策，11，1161.
- 内視鏡ポリペクトミー，12，1269.

ICU 看護の実際——北里大学病院の場合

- ICUの歴史と看護：伊藤敦子，1，81.
- ICUの看護管理：伊藤敦子，2，189.
- ICUの看護業務：武田富久子，3，293.

ICU・CCUのマニュアル：北里大学病院ICU・CCU研究会，4，405.

- 呼吸不全患者の看護(1)：鈴木なほ子・武田富久子，5，513.
- 呼吸不全患者の看護(2)：佐藤美知子・伊藤敦子，6，621.
- 循環器疾患患者の看護：神島幸子，7，729.
- CCU看護の実際：近藤千恵子，8，841.
- 脳神経外科術後患者の看護(1)：石井か代，9，949.
- 脳神経外科術後患者の看護(2)——症例に見る開頭術後患者のケア：伊藤敦子，10，1057.
- 腎移植患者の看護：佐々木ユキ子，11，1165.
- ICU・CCUの医療機器：伊藤敦子，12，1273.

‘私’と‘あなた’の対話：上野 謙

- ‘反省する’と‘責任を果たす’，1，85.
- ‘苦悩との敵対’と‘苦悩との和解’——病気を例に，2，193.
- 傷みを引き受け，真に苦悩するありよう，3，301.

救急医療と看護

- 救急医療——その現状と対策：小浜啓次，4，409.
- 休日夜間急病診療所での救急医療と看護：福居顕信，5，517.
- 救急医療センターにおける救急医療と看護：小林広子，6，625.
- 心停止・呼吸停止に対する処置——心肺蘇生法：藤井町子・小浜啓次，7，733.
- ショック状態患者の看護とポイント：田伏久之，8，845.
- 救急外来での看護の手順：藤井千穂，9，953.
- 救急外来でのバイタルサインの見方：藤井千穂・佐藤喜美子，10，1061.
- 脳神経救急疾患患者の看護のポイント：青山喬，11，1169.
- 循環器系救急疾患患者の看護のポイント：小林絹枝，12，1277.

目で見る移動・介助の実技

- 脊髄損傷患者—5 ベッド上での寝返りと起き上がり：武田功，1，89.
- 脊髄損傷患者—6 ベッド⇄車椅子への移動・介助：武田功，2，197.
- 脊髄損傷患者—7 車椅子⇄トイレへの移動・介助：武田功，3，305.
- 脊髄損傷患者—8 車椅子→浴槽，階段，縁石への昇降：武田功，4，413.
- 進行性筋ジストロフィー症(ドゥシャンヌ型)—1 動作と障害度：野々垣嘉男，5，521.
- 進行性筋ジストロフィー症(ドゥシャンヌ型)—2 寝返り(臥位)動作と介助・1：野々垣嘉男，6，629.